

志岐武彦
山崎行太郎

最高裁の罠

最高裁の罠

the Trap
for Ozawa

小沢裁判では、検察・マスコミ・
米国支配等々の暗部が
次々と暴かれていった。

しかし[最高裁]は、
守秘義務や非公開の原則等により
闇の奥に閉ざされたままである。

本書は、その「窓のない、黒くて、
ぶ厚い石の壁」に挑んだ記録だ。

「小沢一郎検察審査会」は
本当に開かれたのか!?

K&Kプレス

志岐武彦
山崎行太郎

K&Kプレス



9784906674480



1920095015002

ISBN978-4-906674-48-0

C0095 ¥1500E

定価 本体1500円 +税

K&Kプレス

我々は、多くの証拠や文献、そして現場での調査、資料分析等により、
●小沢一郎検察審査会は、本当に開かれたのか。
●検察審査会メンバーは、本当に存在したのか。
●小沢強制起訴は『架空議決』だったのではないか。
という疑いを、なんとしても消すことができなかった。

第一部)
検察審査会は本当に開かれたのか(志岐武彦)

第二部)
「小沢事件」を読み解く(山崎行太郎)

第三部)
対談：山崎行太郎×石川知裕

乙第27号証